

伊賀の自然

第13回

『サイゴクミツバツツジ』



春、4月上旬から山の木々の根元を赤く彩るのがこのサイゴクミツバツツジです。樹高は2mくらいまでで、葉が出る前に直径3～4cm程の淡い赤紫色の花を一面に咲かせます。他の木々がまだ葉を茂らせる前なので、色々な木々の萌葱色の新芽と相まってたいへん目立ちます。ツツジと言えば、青山高原とそれに連なる丘陵地帯がおすすめのスポットです。

ミツバツツジの名前は、葉がクローバーのように3つまとまって付いていることによります。微妙な違いで、北から、ユキグニミツバツツジ、トウゴクミツバツツジ、サイゴクミツバツツジ、コバノミツバツツジなどに分類されています。

伊賀の山並み 髻ヶ岳

前回紹介した沼木山を挟む2つの伊賀富士の東側、上野の市街地からみると左側に山並みを追って行くと大きな切れ込みがあります。そこが、布引峠でメナード青山リゾートのある所です。その東にツンとそびえ立っているのが髻ヶ岳もとどりがたけです。近くから見ると髻、つまりちょんまげのようにも見えるので、こう名付けられました。



全国的に多い「もとどり山」は「丁寧にお願いすると漆器を貸してくれ、きれいに洗って返すとまた貸してくれる、粗末にするともう貸してくれない」という不思議な神様あるいは山人の住処の伝説があるのですが、ここにはないようです。西側のなだらかな山は、峠側から佐田山、楨ヶ尾山です。

武田恵世

歯科医師、歯学博士 伊賀市上野桑町で開業。伊賀市環境保全市民会議 レッドデータブック作成委員会 委員長。環境省希少野生動物植物種保存推進員。日本鳥学会、日本生態学会 会員他。著書に「風力発電の不都合な真実」(アットワークス刊)などがある。